

令和7年度 校内研究推進計画

I 研究の概要

1 研究主題

自ら学び、ともに高まる子どもの育成
～ 聴き合うことを大切にした授業づくりを通して ～

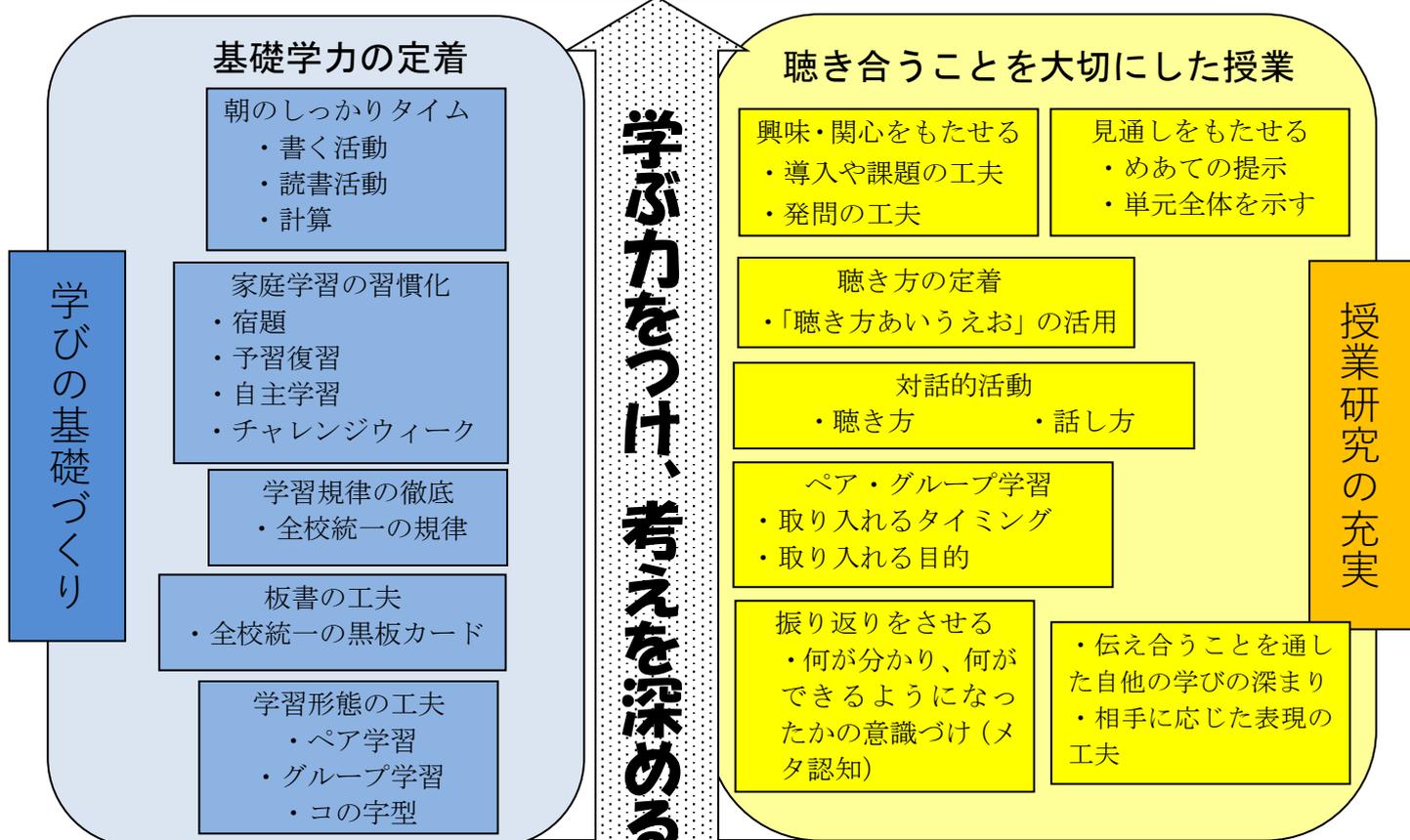
2 研究仮説

「自ら問いを発する子ども」＝「学び続ける子ども」という本校のこれまでの取組をふまえ、「自ら学び、ともに高まる子ども」に設定することで、自己の考えをもつことで学習を完結させるのではなく、自分の考えを相手に伝える活動（対話的活動）をすることで学びを確認したり、他者の考えを聴いて自分の考えと比較したりして、自ら学ぶ主体性や他者との対話を通じて学習をする協同性を育てていけるのではないかと考える。また、他者に応じた伝え方の工夫を意識していくことで、自らの学びを再確認でき、自他ともに成長していけると考える。結果、独自学習よりも深い学びを手に入れることができるのではないかと考える。

3 研究構想図

豊かな心を持ち、自ら学び、仲間とともにたくましく生きる子
—すべての子が安定した居場所のある学校づくり—

自ら学び、ともに高まる子どもの育成
～ 聴き合うことを大切にした授業づくりを通して ～



安定した居場所のある学校づくり - 仲間づくり

児童の実態、保護者・地域の願い